

経営比較分析表（令和2年度決算）

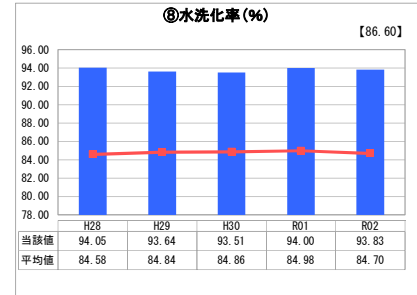
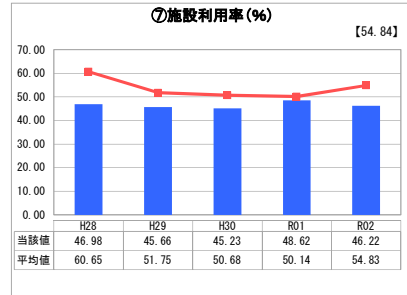
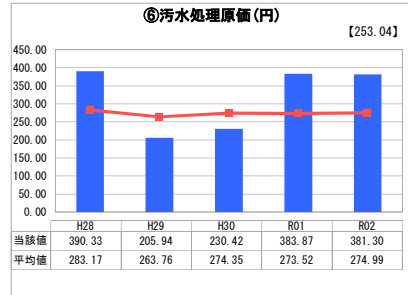
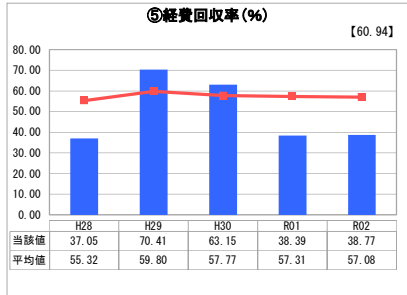
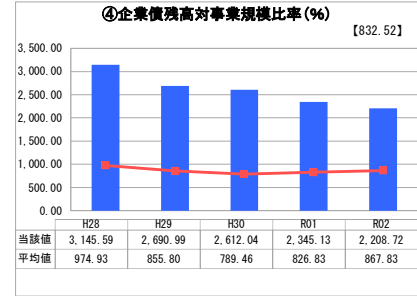
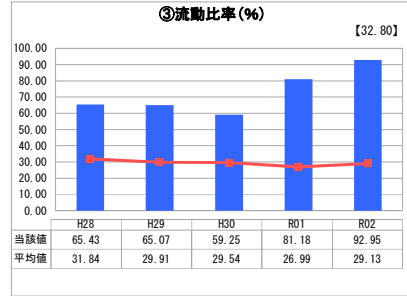
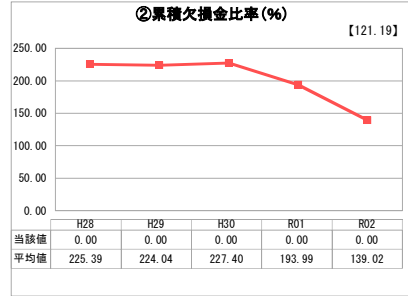
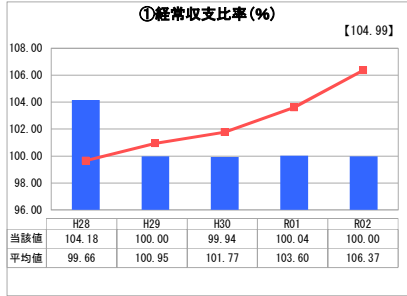
兵庫県 三木市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	47.73	1.70	96.40	2,640

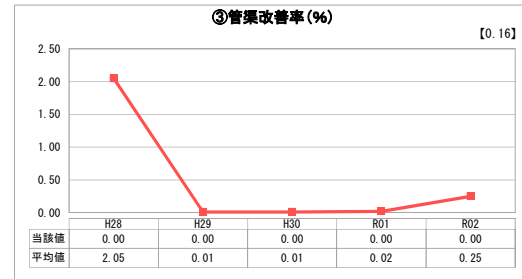
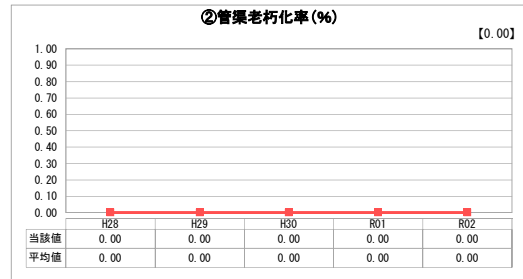
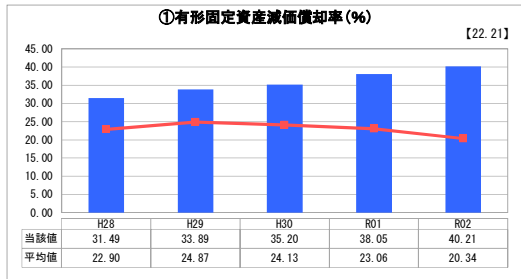
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
76,565	176.51	433.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,297	2.30	563.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は100%だが、類似団体平均を下回っているため、今後も引き続き効率的な運営を推進していく必要がある。
- ②累積欠損金は発生していない。
- ③流動比率は、類似団体平均より高いものの100%を下回っており、現金預金等の資金が十分に確保されているとは言えない。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っており、更なる企業債の削減が必要である。
- ⑤経費回収率は、類似団体平均を下回っており、適正な使用料収入の確保及び経費削減が必要である。
- ⑥汚水処理原価は、類似団体平均を上回っており、当市の公共下水道事業や特定環境保全公共下水道事業と比べても高い水準となっているため、抜本的な経営改善が必要である。
- ⑦施設利用率は、類似団体平均より下回っており、類似団体との比較では効率的な施設利用ができていない。
- ⑧水洗化率は、類似団体平均より上回っているが、既に下水道整備が完了していることから今後は大幅な上昇は見込めない。

2. 老朽化の状況について

現在4施設ある農業集落排水処理施設のうち最も早く供用を開始した施設が平成10年であり、供用開始からの経過年数が浅いため、管渠の老朽化は見受けられない。

ただし、分析表の指標には無いが、施設については、今後、管渠より早く耐用年数が経過することから、計画的な長寿命化対策が必要となってくる。

全体総括

健全な経営を行うためには、市町合併により6施設となった農業集落排水処理施設の統廃合を行う等の抜本的な経営改善が必要であったため、平成22年度に下水道統廃合計画を策定し、公共下水道への統廃合により農業集落排水処理施設を最終的に2施設にまで減らす計画を進めており、平成28年度に農業集落排水処理施設1施設、令和元年度にはもう1施設の統廃合を行った。

今後も施設の統廃合等の抜本的な経営改善により、経営の効率化を図る予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。